

# 学び直し／リカレント教育について



文部科学省

令和4年1月25日



文部科学省

MEXT

MINISTRY OF EDUCATION,  
CULTURE, SPORTS,  
SCIENCE AND TECHNOLOGY-JAPAN

# リカレント教育（学び直し）に関する昨今の総理の御発言、提言等

## （参考1）岸田内閣総理大臣 第208回国会における所信表明演説（抜粋）（令和4年1月17日）

スキル向上、再教育の充実、副業の活用といった人的投資の充実が、デジタル社会、炭素中立社会への変革を円滑に進めるための鍵です。世界が、産業界が、地域が必要とする、人材像やスキルについて、現場の声を丁寧に聞き、明確化した上で、海外の先進事例からも学び、公的職業訓練の在り方をゼロベースで見直します。

## （参考2）岸田内閣総理大臣 第207回国会における所信表明演説（抜粋）（令和3年12月6日）

人への投資を積極化させるため、三年間で四千億規模の施策パッケージを新たに創設します。非正規雇用の方を含め、学び直しや職業訓練を支援し、再就職や、正社員化、ステップアップを強力に進めます。

## （参考3）岸田内閣総理大臣 第205回国会における所信表明演説（抜粋）（令和3年10月8日）

第四の柱は、人生百年時代の不安解消です。将来への不安が、消費の抑制を生み、経済成長の阻害要因となっています。兼業、副業、あるいは、学びなおし、フリーランスといった多様で柔軟な働き方が拡大しています。大切なのは、どんな働き方をしても、セーフティネットが確保されることです。働き方に中立的な社会保障や税制を整備し、「勤労者皆保険」の実現に向けて取り組みます。（中略）

## （参考4）緊急提言～未来を切り拓く「新しい資本主義」とその起動に向けて～（令和3年11月8日新しい資本主義実現会議）

### I. 新しい資本主義の起動に向けた考え方

成長と分配を同時に実現するためには、幼児教育・保育や小中学校から企業内まで、「人」への投資を強化する必要がある。  
（中略）リカレント教育やセーフティネットの整備を通じて、やり直しのできる社会、誰一人として取り残さない社会を実現する必要がある。

## （参考5）教育未来創造会議における主な論点案（※令和3年12月27日第1回教育未来創造会議資料より抜粋）

### 学び直し（リカレント教育）を促進するための環境整備

- ・学び直した成果の適切な評価
- ・学ぶ意欲がある人への支援の充実や環境の整備

# リカレント教育等社会人の学び直しの総合的な充実

令和4年度予算額（案） 96億円  
（前年度予算額 86 億円）

令和3年度補正予算額 15.5億円

令和4年度予算額（案）+令和3年度補正予算額 112億円



文部科学省

人生100年時代や技術革新の進展、コロナ禍における社会情勢等を踏まえ、社会のニーズに対応したリカレント教育の基盤整備や産学連携による実践的なプログラムの拡充等による出口一体型リカレント教育を厚生労働省・経済産業省と連携しながら推進することにより、誰もがいくつになっても新たなチャレンジができる社会を構築する。

## 大学・専門学校等を活用した社会人向けの実践的なプログラムの開発・拡充

### ○就職・転職支援に向けたリカレントプログラムの実施

（DX等成長分野を中心とした就職・転職支援のためのリカレント教育推進事業  
：1,550百万円（R3補正）（1,280百万円（R2補正））  
・就業者・非正規雇用労働者・失業者等に対し、デジタル等成長分野を中心に大学・専門学校において社会のニーズに合ったプログラムを提供し円滑な就職・転職を支援

### ○放送大学の充実

（放送大学学園補助金：7,389百万円（7,386百万円））  
・数理・データサイエンス・AI教育に関するエキスパートレベルのコンテンツの制作等

### ○価値創造人材の育成

（大学等における価値創造人材育成拠点の形成：87百万円）（97百万円）  
・デザイン思考・アート思考の養成、分野横断型の学修を経て、創造的な発想をビジネスにつなぐ教育プログラムの開発及び拠点の形成

### ○専修学校リカレント教育プログラムの開発

（専修学校リカレント教育総合推進プロジェクト：77百万円（269百万円））  
・産学連携によるリスタートプログラムの開発・実証 等

※このほか、社会人の組織的な受入れを促進する大学等への経常費補助、職業実践的な教育を行う「専門職大学」等の制度化（平成31年4月施行）を実施。

### ○産学官連携による高度技術人材等の育成

（超スマート社会の実現に向けたデータサイエンティスト育成事業：88百万円（175百万円））  
・産学官連携による実践的な教育ネットワークの形成  
・実課題によるPBLやインターンシップ等からなる教育プログラムの開発・実践

### ○教職に関するリカレント教育プログラムの実施

（学校教育における外部人材活用事業：61百万円の内数（67百万円の内数））  
・就職氷河期世代のうち教員免許状を持つものの教職への道を諦めざるを得なかった者等を対象としたリカレント教育プログラムを継続的に開発・実施。

### ○産学官連携による地元定着のための教育プログラムの実施

（大学による地方創生人材教育プログラム構築事業：220百万円（226百万円））  
・産学官が連携し、地域が求める人材を養成するための教育改革を実行するとともに、出口（就職先）と一体となった教育プログラムを実施

### ○地域発イノベーション創出に向けた人材育成プログラムの開発

（地域活性化人材育成事業：1,450百万円の内数（新規））  
・大学間の高度な連携や、産官学金による地域連携プラットフォームの構築等を行うことで、地域の資源を総結集した教育プログラムを構築し、地域発イノベーションを担う人材を育成

## リカレント教育を支える専門人材の育成

### ○実務家教員の育成

（持続的な産学共同人材育成システム構築事業：202百万円（250百万円））  
・社会人の学び直しを含む実践的な教育を支える実務家教員を育成・活用するシステムの構築

☆大学・専修学校の実践的短期プログラムに対する文部科学大臣認定の充実

- ・大学・大学院「職業実践力育成プログラム」(BP) 及び「キャリア形成促進プログラム」  
⇒ 受講者の学習機会の拡充や学習費用の軽減につながるよう、認定講座をさらに充実。  
令和3年3月時点：B P 314講座、キャリア形成促進プログラム18講座

## リカレント教育推進のための学習基盤の整備

### ○女性のキャリアアップ等

（女性の多様なチャレンジに寄り添う学びと社会参画支援事業：24百万円（24百万円））  
・女性のキャリアアップ・キャリアチェンジに向けた学び直しやキャリア形成等の総合的支援

### ○社会人向け情報アクセスの改善

（社会人の学びの情報アクセス改善に向けた実践研究：14百万円（17百万円））  
・講座情報、各種支援制度等へ効果的にアクセスできる情報発信ポータルサイトの充実・実践研究

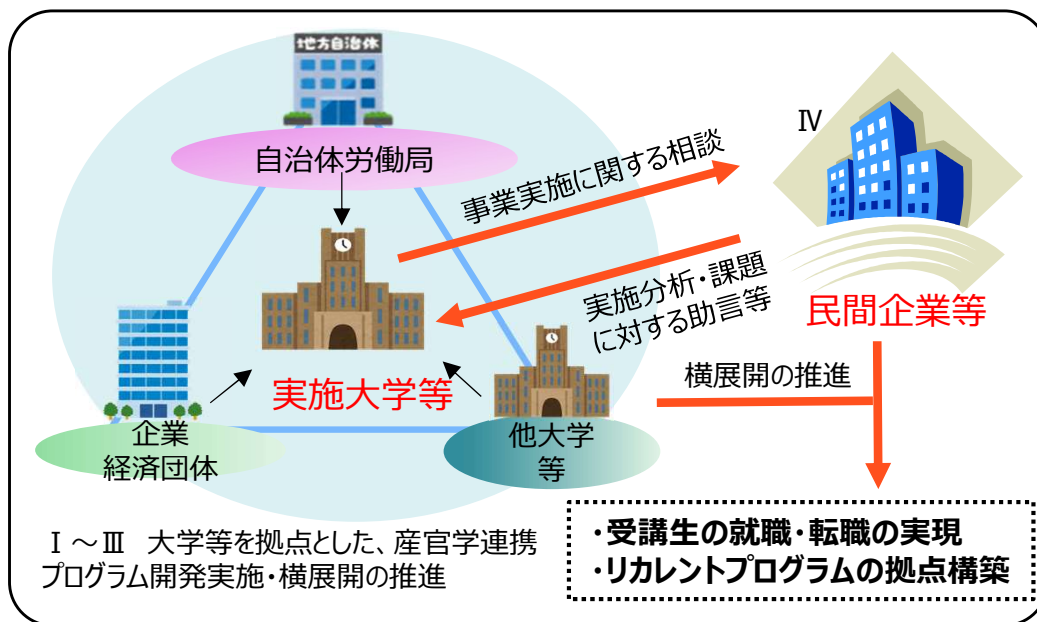
### ○リカレント講座の運営モデルの構築

（大学等におけるリカレント講座の持続可能な運営モデルの構築：22百万円（24百万円））  
・大学等におけるリカレント講座の持続可能な運営モデルにおける実証研究

## 目的・概要

- 新型コロナウイルス感染症の影響を受けた、就業者・失業者・非正規雇用労働者等に対し、デジタル・グリーン等成長分野を中心に就職・転職支援に向けた社会のニーズに合ったプログラムを実施する。
- 大学・専門学校等が労働局、企業等産業界と連携して教育プログラムを提供するとともに就職・転職等労働移動の支援も実施する。また、成長分野を中心に、就職に必要なリテラシーレベル、就業者のキャリアアップを目的としたリスキングに向けたプログラムを実施する。

## 事業イメージ



## 実施内容

### I.DX分野リテラシープログラムの開発・実施（大学・専門学校等）

【2,500万円×25拠点＝6.3億円】

・主に失業者・非正規雇用労働者を対象とする。就職・転職に必要な基礎的なDX分野の能力を育成し、労働局、地元企業等産業界と連携し就職・転職に繋げるとともに厚生労働省の職業訓練受講給付金との連携も図る。また、近隣地域・大学等へ、開発したプログラムの横展開も図る。

### II.DX分野等リスキルプログラムの開発・実施（主に大学等）

【5,000万円×10拠点＝5.0億円】

・主に就業者を対象とする。地元企業、リスキングに注力している企業と連携し、応用基礎的なDX分野の能力を育成しリスキングの推進、キャリアアップに繋げる。  
・様々なタームに分けた柔軟な授業時間の設定、政府におけるデジタル人材育成の取組と連携しながら、社会に不足するデジタル人材を輩出する仕組みを構築。

### III.重要分野のリカレントプログラムの開発・実施（大学・専門学校等）

（グリーン、医療・介護、地方創生、女性活躍、起業、イノベーション喚起等）

【1,500万円×25拠点＝3.8億円】

・主に就業者・失業者・非正規雇用労働者を対象とする。各業界と連携し就職・転職に必要な基礎的・応用的な重要分野の能力を育成し、労働局と連携した就職・転職支援を行うとともに、厚生労働省の職業訓練受講給付金との連携も図る。また、近隣地域・大学等へ、開発したプログラムの横展開も図る。

### IV.プログラム実施・拠点構築の支援・分析、横展開に向けた取組

【5,000万円×1拠点（民間企業等）＝0.5億円】

・プログラムの開発・実施、拠点構築に際する課題に対して助言等を行う機能を果たす。併せて、開発したプログラムの横展開を、教育機関と連携しながら推進する。

## アウトプット（活動目標）

- ・ 開発したプログラム数・受講者数
- ・ 事業における実施大学・専修学校数

## アウトカム（成果目標）

- ・ 失業者の受講後の就職者数
- ・ 非正規雇用労働者の正規雇用への転換割合
- ・ 受講者の就職・就業率

## インパクト（国民・社会への影響）

- ・ 厳しい雇用情勢における、国民のキャリアアップの実現
- ・ 社会的ニーズのある職種における人材の育成・社会実装
- ・ 大学等におけるリカレント教育実施に関する機運の醸成

平成27年3月 教育再生実行会議提言(第6次提言)

「「学び続ける」社会、全員参加型社会、地方創生を実現する教育の在り方について」

有識者会議において、認定要件等を検討

平成27年度から **社会人や企業等のニーズに応じて大学等が行う実践的・専門的なプログラム**を「職業実践力育成プログラム」(BP)として文部科学大臣が認定

**【目的】**

プログラムの受講を通じて社会人の職業に必要な能力の向上を図る機会を拡大

**【認定要件】**

- 大学、大学院、短期大学及び高等専門学校 の正規課程及び履修証明プログラム
- 対象とする職業の種類及び修得可能な能力を具体的かつ明確に設定し、公表
- 対象とする職業に必要な実務に関する知識、技術及び技能を修得できる教育課程
- 総授業時数の一定以上(5割以上を目安)を、以下の2つ以上の教育方法による授業で実施
  - ① 実務家教員や実務家による授業 (専攻分野における概ね5年以上の実務経験有)
  - ② 双方向若しくは多方向に行われる討論 (課題発見・解決型学修、ワークショップ等)
  - ③ 実地での体験活動 (インターンシップ、留学や現地調査等)
  - ④ 企業等と連携した授業 (企業等とのフィールドワーク等)
- 受講者の成績評価を実施 ○ 自己点検・評価を実施し、結果を公表(修了者の就職状況や修得した能力等)
- 教育課程の編成及び自己点検・評価において、組織的に関連分野の企業等の意見を取り入れる仕組みを構築
- 社会人が受講しやすい工夫の整備(週末開講・夜間開講、集中開講、オンライン授業、遠隔授業、IT活用等)

認定により、**①社会人の学び直す選択肢の可視化、②大学等におけるプログラムの魅力向上、③企業等の理解増進を図り、厚生労働省の教育訓練給付制度とも連携し、社会人の学び直しを推進**

※認定課程数(令和3年10月現在) : **314** 課程(令和4年4月以降の認定課程数(予定) : **357** 課程)

# 「職業実践力育成プログラム」(BP)の事例(従来の職種・職域を転換)

公表資料等より文部科学省作成

## 日本女子大学「リカレント教育課程」

### 履修証明

### 女性活躍

【目的】 大学卒業後に就職し、その後育児や進路変更等で離職した女性にキャリア教育を通して、高い技能・知識と働く自信・責任感を養い、再就職を支援。

【特徴】 英語(会話、ビジネス)、IT、社会保険法・労働法知識、会計・簿記、貿易実務、マーケティング等の知識・スキルを修得。

企業と連携したプログラムの実施、グループワーク、インターンシップ、合同会社説明会を開催。

【対象とする職業分野】 管理職、事務系(経理、人事、貿易実務等) 営業

【受講期間】 1年間(令和2年度受講者数:42名)

【社会人の受講しやすい工夫】 託児サービス、週末開講、集中開講、オンライン講座



↑外国人教師による時事英語の授業の様子



←コンピュータ演習室におけるIT授業の様子

## 関西学院大学「ハッピーキャリアプログラム 女性リーダー育成コース」

### 履修証明

### 女性活躍

【目的】 職場でのリーダーを目指す女性を対象に、リーダーに求められる経営知識、マネジメント能力等を養成。

【特徴】 組織マネジメント、データサイエンス、事業革新等の科目で構成。女性経営者による講義、実務直結の問題解決トレーニング、女性リーダーネットワーク構築、グループワークなどを実施。

【対象とする職業分野】 管理職、企画・営業・経理等

【受講期間】 10ヶ月(令和2年度受講者数:22名)

【社会人の受講しやすい工夫】 夜間・週末開講、IT活用等



↑「リーダーシップ」についてディスカッションを行う様子

## マナパスに掲載している情報

- ・令和2年度よりサイトの本格運営を開始し、**1日あたりのPV数は3,000程度**。
- ・大学（学部・研究科等）の**マナパスに対する認知度は49.9%**と上昇中（令和2年12月時点）。
- ・Yahoo！バナー広告やテレビ番組、ラジオ番組等でも紹介！**マイページも9月30日に公開**。



### <講座検索>

大学・専門学校の社会人向けプログラムを中心に5,000程度の講座を掲載！！「オンライン」「費用支援」「取得資格」等希望に沿った条件検索も可能！！

検索するキーワードを入力

検索

学ぶ場所 北海道 東北 北関東・甲信越 首都圏 東海 北陸 近畿 中国・四国 九州・沖縄

学校種別 大学 大学院 短期大学 専門学校 その他

課程 正規課程 科目等履修生 履修証明プログラム 公開講座 その他

通学/通信 通学 通信

金額 無料 ～5万円 ～10万円 ～20万円 ～30万円 30万円超

その他条件 土日・平日夜間 教育訓練給付制度対象講座 奨学金制度有り 職業実践力育成プログラム (BP) 認定講座 女性の進路・就職支援 eラーニング等オンライン講座の活用 職業実践専門課程認定講座 キャリア形成促進プログラム認定講座 MOOC講座

分野を選択する

取得する資格を選択する

検索

### <特集ページ>

「地方創生」「就職氷河期」「経済的支援」「女性の学び」等社会的にホットなテーマと学びを掛け合わせて紹介！！



### <ランキング機能>

ビジネスや健康福祉、情報といった分野別のアクセスランキングを日々更新中！！

講座アクセスランキング

ビジネス系 (MBA・経済・経営・法・政治 他)

1	リカレント教育課程 日本女子大学
2	政策創造研究科政策創造専攻修士課程 筑波大学
3	避けたい英語 2020 (編田義明提供) JMOC
4	能登里山里海SDGsマイスタープログラム 金沢大学
5	近江環人地域再生学座 社会人コース 滋賀県立大学

6位～20位はこちら

### <動画紹介>

社会人の学びに対する教育界・産業界からのメッセージや、大学・専門学校の学習事例を紹介！！



### <学びのガイド機能>

検索タグで性別・年代、問題意識に合わせた学びのモデル検索 (インタビュー) や実践的、経済的支援のあるプログラムの検索が可能！！

学びのモデルを見つけよう  
在学生・修了生インタビューを読みたい方はこちら

実践的なプログラムから探そう  
実際に直結するプログラムをお探しの方はこちら

学費等の支援がある講座を探そう  
奨学金や教育訓練給付金の対象のプログラムはこちら

最新のトピックから選ぼう  
特集記事から関連する講座を探したい方はこちら

### <いいね機能>

ユーザーから関心の高い講座が一目でわかるように、「いいね機能」を搭載！！



その他、初学者から既習者までマナパスの使い方がわかる「**目的別マナパス利用ガイド**」や就職氷河期支援ポータルサイト「**ゆきどけ荘**」、職業検索サイト「**日本版O-NET**」、「**巣ごもりDXステッ講座情報ナビ**」等、社会人に有益な情報を発信するサイトとも連携！！

# 參考資料



# 就職・転職支援のための大学リカレント教育推進事業

令和2年度第3次補正予算額 13億円

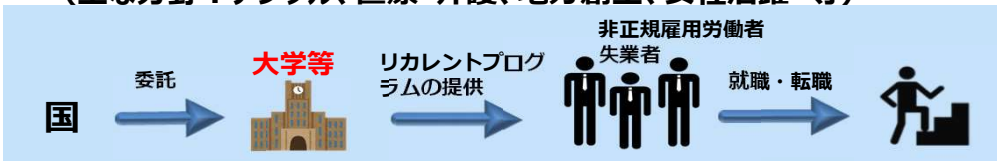
## 背景・必要性

新型コロナウイルス感染症の影響により、非正規雇用労働者等を中心に失業者が約209万人に拡大。解雇等見込み労働者数も約10万人。このため、文部科学省と厚生労働省、経済産業省が連携し、大学等において非正規雇用労働者や失業者等を対象に、デジタル人材等成長分野の人材育成から就職支援等を一体的に推進し、受講生のキャリアアップに繋げる。（人数は2020年11月時点）

## 事業内容・事業実施イメージ

非正規雇用労働者、失業者、希望する就職ができていない若者等の支援として、全国の大学等を中心とした連携体制において、即効性があり、かつ質の高いリカレントプログラムの発掘・開発を行い、オンラインと対面を組み合わせ集中的に提供する体制を整えることにより、全国のリカレント教育のニーズに応え、受講生の円滑な就職・転職を促す。

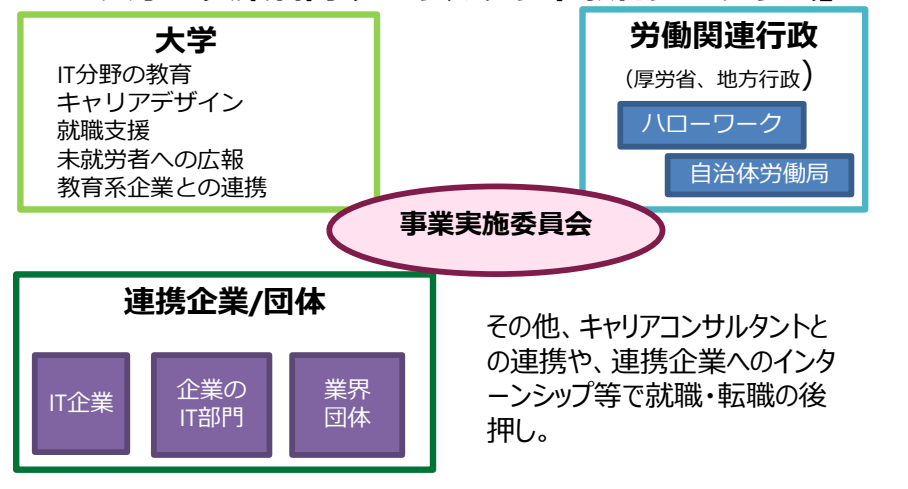
令和3年度事業実施大学：22都道府県・40大学・63プログラム  
（主な分野：デジタル、医療・介護、地方創生、女性活躍等）



## 本事業の文部科学省、厚生労働省、経済産業省の連携イメージ



## ・A大学「失業者向けITリカレント教育プログラム」



## 具体的な取組・スケジュール

### <具体的な取組>

実施大学等（国公立大学・短大、高専）が他大学、地方公共団体、企業、経済団体等と連携し、企業や地域の実情に応じたりカレントプログラムを開発・実施。また、ハローワーク等と連携した就職・転職支援を行い、DX分野、医療介護等、社会的にニーズが高まっている業種への就職・転職を実現する。

### <事業実施のスケジュール>

- 令和3年 3月中旬～4月中旬：事業公募期間
- 6月中旬：採択決定・公開、大学等への通知
- 7月上旬～：プログラムの出願・順次プログラム開始
- 令和4年 3月中旬：プログラムの成果の取りまとめ・報告

## 令和3年度採択実績に関して（採択数、分野、見込み受講者数等）

### 【採択実績】

○ 22都道府県、40大学、63プログラム（申請：41大学、66プログラム）

○ aコース：19件 bコース：31件 cコース：13件

aコース：失業者を主な対象とし、地域や企業等のニーズに応じたプログラムを開発し受講者の就職につなげるコース。厚生労働省の定める要件を満たす者は、職業訓練受講給付金の受給対象。  
プログラムの総時間数は1か月あたり60時間以上、実施期間は2か月以上6か月以内。

bコース：非正規雇用労働者、失業者等を主な対象とし、文部科学大臣が認定する職業実践力育成プログラム(BP)に相当する実践的・専門的なコース。プログラムの総時間数は60時間以上。

cコース：非正規雇用労働者、失業者等を主な対象とし、地域の実情に応じて、弾力的なプログラムの開発を可能としたコース。プログラムの総時間数は60時間程度

### 【採択分野（一部プログラムは分野が複数該当）】

○ D X（AI・IoT等）：24講座      ○ 地方創生：9講座      ○ 女性活躍：9講座

○ 医療・介護：8講座      ○ 起業：2講座      ○ その他：15講座

### 【見込み受講者数（各プログラムの定員数より推計）】

2,500名程度

## 青山学院大学

### 「女性向けのITリカレント教育プログラム ADPISA-F」

詳細・シラバス等は  
ここをクリック

#### 【プログラムの目的】

社会人女性を対象に、IT(情報技術)系の教育を実施するだけでなく、受講者が長い生涯における学びを自律的に継続できるようになることを目標とします。

#### 【プログラムの特徴】 (詳細右写真または、[ここをクリック](#))

- ・ ライフイベントで離職する人の割合が高く、コロナ禍でさらに苦境に立たされている女性を対象とします。
- ・ 日本のIT関連の産業構造が急速に変革し、あらゆる業種でIT人材の需要が高まっている今、時代に求められている人材を育成します。
- ・ 持続可能な開発目標(SDGs)に対応します(右中図)。

#### 【具体的な取り組み】

- ・ 産(IT業界)官(労働局)学(青学大)が連携し、受講生募集からIT教育、就職まで一貫して支援します。
- ・ 単にIT系の基礎科目を教育するだけでなく、マインド醸成、ITの面白さ発見からキャリアプラン作成までを実施します(右下図)。
- ・ IT系業種又はユーザ系企業のIT職種への就職を支援します。就職・就業率80%以上を目標とします。

#### 【その他】

- ・ 受講期間は2021/10/11から3カ月間。受講定員は30名。
- ・ 全講義の80%をオンライン授業。一部、青山キャンパスで実施。
- ・ 要件を満たす場合は職業訓練受講給付金の対象。



青山学院大学  
社会情報学部附置リエゾンラボ

ADPISA

青山学院大学  
AOYAMA GAKUIN UNIVERSITY

<https://adpisa.si.aoyama.ac.jp/adpisa-f>

